　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年10月1日更新

**SCCM導入マニュアルWindowsOS版**

**１　実行環境**

* 1. **対象OSバージョン**

|  |
| --- |
| OS |
| Windows Vista |
| Windows 7 |
| Windows 8 |
| Windows 8.1 |
| Windows　10 |

※OSバージョンにて，HomeEditionはサポート外のため対象外

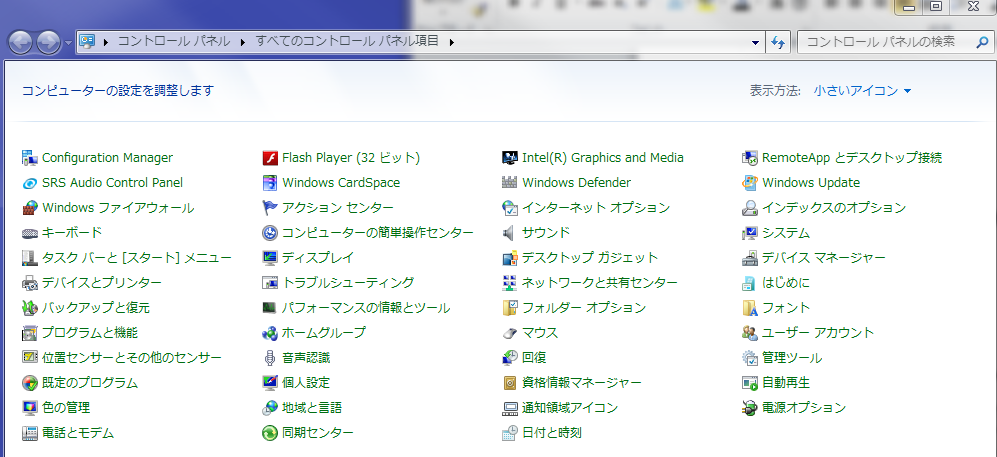
* 1. **Windows　Update**

Windows　Updateを行いPC環境を最新の状態にする。（Updateが溜まっているとプログラムが正常に動作しない場合があります）

■作業方法

　①スタートボタン（Windowsマーク）からコントロールパネルを開きWindows　Updateをクリックする。

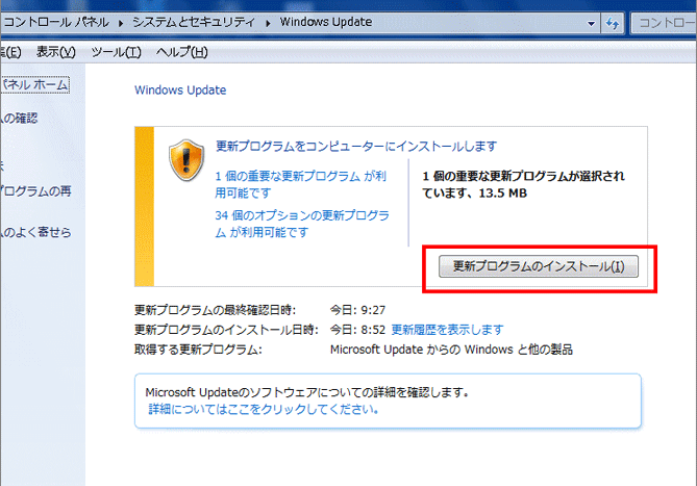
＜「コントロールパネル」画面＞



**１　実行環境**

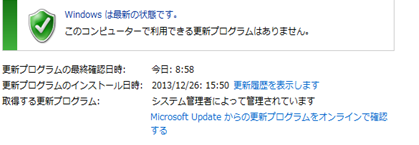
　②更新プログラムのインストールをクリックする。

＜「Windows　Update」画面＞



③更新プログラムのインストールが終了したら指示に従い再起動を行う。

※一度のUpdateで全ての更新プログラムがインストールされない場合があるため，下記のような表示が出るまでWindows Updateを行う。



* 1. **その他の更新**

その他のソフトウェアのバージョンを最新の状態にする。PCデスクトップ上に「ソフトウェアの最新のバージョンがリリースされています。更新してください。」等の表示が出ている場合，新しいバージョンにする。（お知らせを無視して作業をするとプログラムが正常に動作しない場合があります）

**1.4　　ネットワーク**

　ポート80番・8080番が空いている事が前提，プロキシ設定がある場合は事前に動作確認が必要。

**２　「SCCM」のインストール**

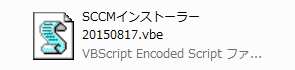
**2.1　SCCMのインストール**

　①事務の友「Second Tool Box」内の「日本大学ランセンス管理システム」を開き，「ダウ

　　ンロード」内にある「SCCMインストーラーyyyymmdd.zip」をダウンロードする。

※yyyymmddはインストーラー更新日です。



上記のファイルをPCデスクトップ上に保存後，解凍を行う。解凍後は「SCCMインストーラーyyyymmdd.vbe」という名前に変わります。

**※ネットワーク回線の影響でインストールに失敗する場合は「SCCM」フォルダをコンピュータのローカルディスク（C：）直下に貼り付け，「SCCMインストーラーyyyymmdd.vbe」を実行すると回線に負荷がかからない。(中身はsccm\_client.cabデータ)**

**「SCCM」データが必要な場合は，IT管理課へご連絡ください。**

②インストーラーの実行

　　インストーラーをダブルクリックし実行する。インストーラーが実行されるとユーザ

　　ーアカウント制御ウィンドウが表示される場合がある。

ユーザーアカウント制御

次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？

プログラム名　　：Microsoft Windows Based Script Host

確認済みの発行元：MicroSoft Windows

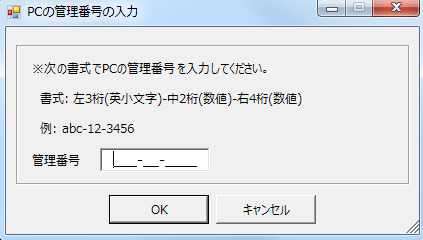
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　はい（Y）　いいえ（N）

③「はい（Y）」をクリックし次の動作へ進む

④各部科校ごとの管理番号を入力する。

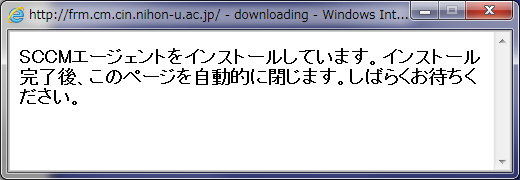
（※日本大学PC管理シールに記載　例：xxx-14-0001）

OKをクリックし次へ進む。その後確認のため再度管理番号の入力が求められる。



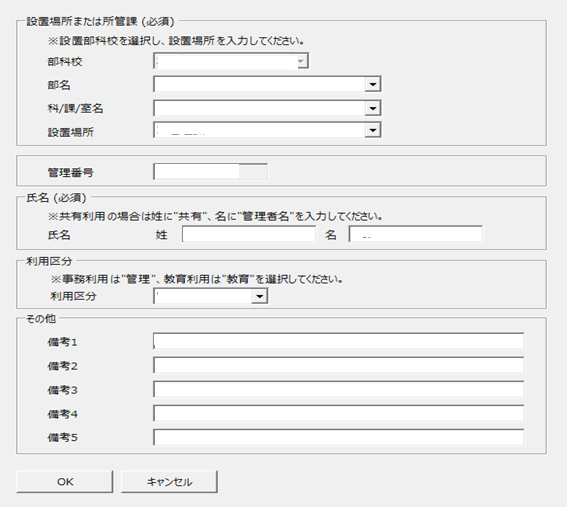
**２　「SCCM」のインストール**

⑤インストールが始まると次のウィンドウが表示されます。



　⑥情報の入力※画面表示に５分ほど時間がかかります。

**部科校，部名，科/課/室名，設置場所，氏名，利用区分を入力**



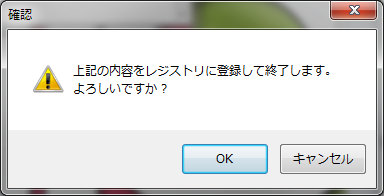
**自身の所属を選択します**

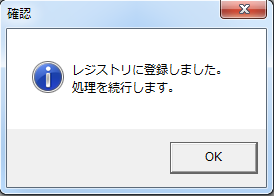
**利用者の名前を入力します**

**入力した番号が表示されます**

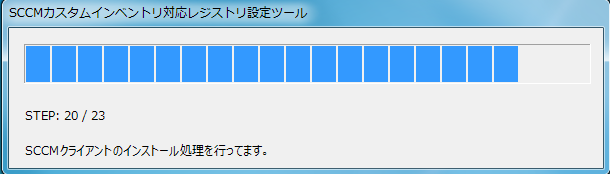
**利用区分を選択します**

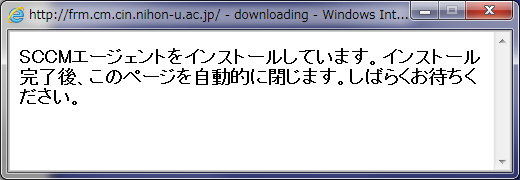
**２　「SCCM」のインストール**

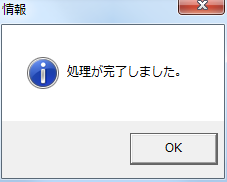
⑦「OK」をクリックし情報をレジストリに登録する。※登録完了に１０分ほど時間がかかります。



⑧インストールが終了するとウィンドウが自動的に消える。







**２　「SCCM」のインストール**

**2.2　インストールの確認**

1. コントロールパネルにて「Configuration Manager」が表示されたことを確認



**2.3　インストール後のデータ収集について**

常時ネットワークに接続し利用するPC

NO

YES

データを収集させるためにPCの電源を入れた状態にする。

※作業日の翌朝まで

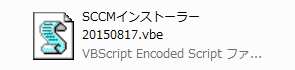
※スリープを解除する必要がある

PC利用中に自動的にデータが収集されるため作業の必要はない

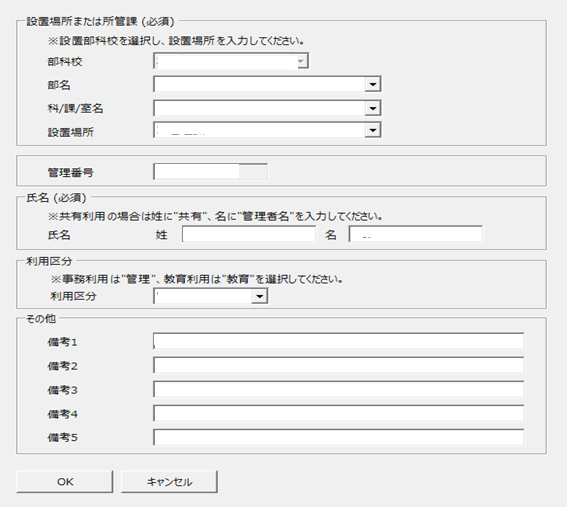
**３　「SCCM」情報の変更（必要に応じて）**

**3.1　設置場所・名前・利用区分・備考の変更**

　①人事異動等で設置場所・氏名・利用区分・備考に変更がある場合SCCMインストーラーを再実行し内容の変更を行う。



　②SCCMインストーラー実行後，前回入力した項目が表示されるので，変更したい箇所を修正し，「OK」をクリックする。



**変更したい内容**

**変更したい内容**

**変更したい内容**

**変更したい内容**

**番号は変更できません**

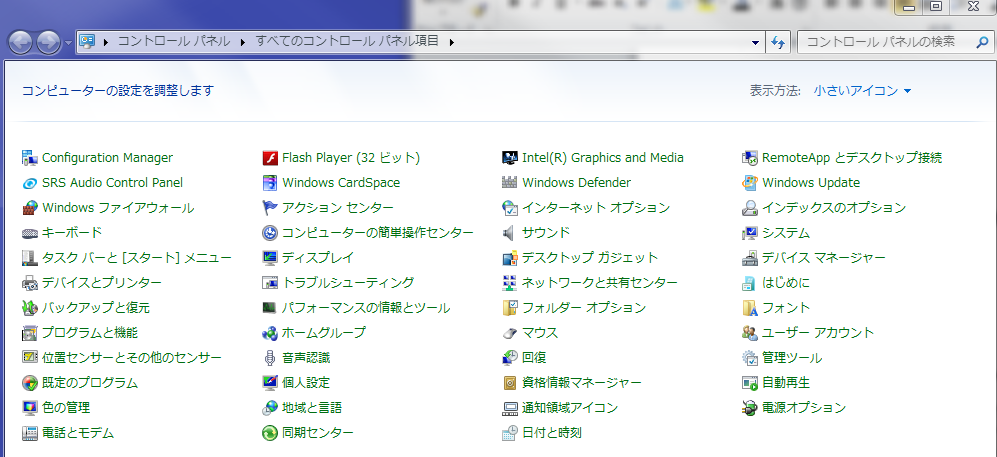
**変更したい内容**

**変更したい内容**

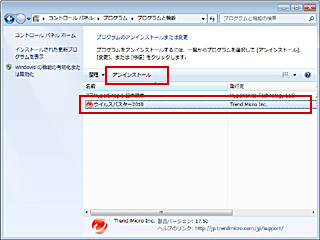
**４　「SCEP」のインストール(利用する場合)**

**4.1　現在使用しているウイルス対策ソフトをアンインストールする。**

①コントロールパネル画面を開く



　②「プログラムと機能」を開き対象のウイルス対策ソフトを選択しアンインストールを行う。（例：ウイルスバスター）



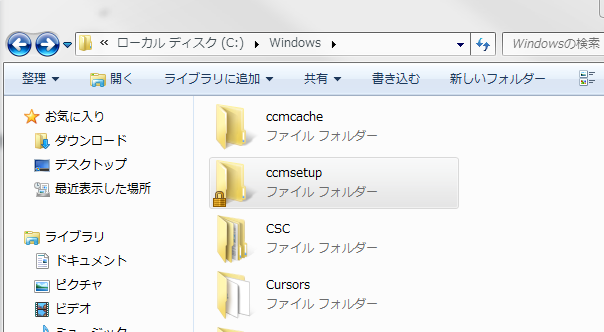
1. 順に従いウイルス対策ソフトのアンインストールが終了したら，再起動を行う。

**４　「SCEP」のインストール**

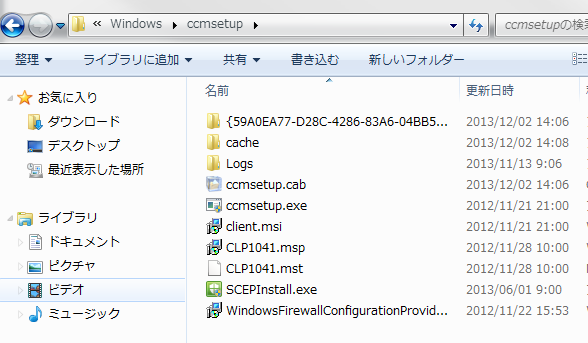
**4.2　SCEPInstall.exeの実行**

（「SCEP」利用設定ONの場合，基本的に「SCCM」がインストールされると自動的に「SCEP」がインストールされるが，タイミングが不明確なため，直ちにインストールをしたい場合強制実行を行う。）

①SCCMインストーラーを実行させると自動的にローカルディスク（C）のWindowsフォルダの中にccmsetupフォルダが作成される。



1. ccmsetup内のSCEPInstall.exeをダブルクリックして実行する。



**４　「SCEP」のインストール**

1. ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示されるので「はい(Y)」をクリック

　　　　ユーザーアカウント制御

　　　　　　プログラム名　　　：MicroSoft Corp.

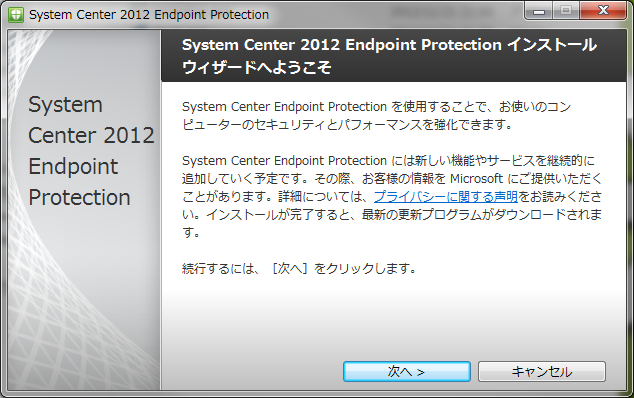
　　　　　　確認済みの発行元　：Microsoft　Corporation

　　　　　　ファイルの入手先　：このコンピュータ上のハードドライブ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　はい（Y）　いいえ（N）

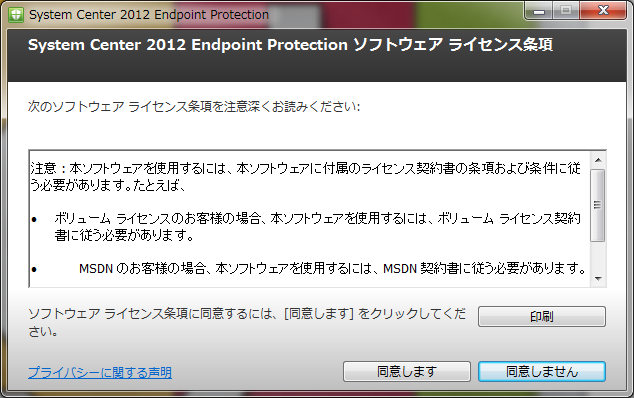
**4.3 SCEPインストール作業実行後の設定**

1. 「System Center 2012 Endpoint Protectionのインストールウィザードへようこそ」というウィンドウが表示されるので「次へ」をクリックする。



1. 「System Center 2012 Endpoint Protection　ソフトウェアライセンス条項」

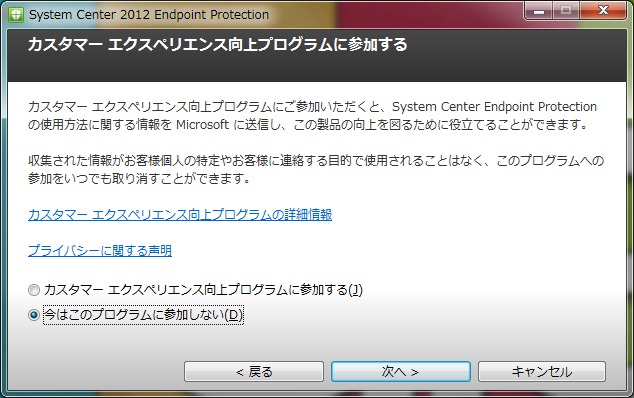
に同意する。



**４　「SCEP」のインストール**

③「カスタマーエクスペリエンス向上プログラムについて」

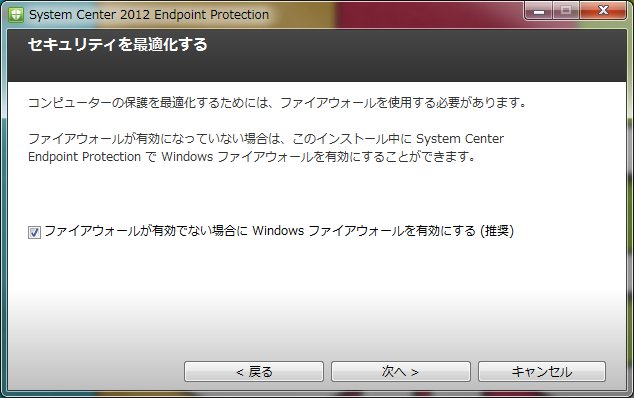
□今はこのプログラムに参加しないを選択し次へ進む



④「セキュリティを最適化する」ウィンドウ

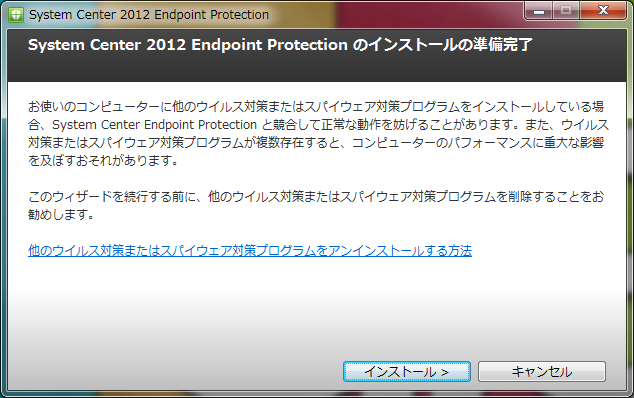
□ファイアウォールが有効でない場合にWindowsファイアウォールを有効にする

にチェックし次へ進む。



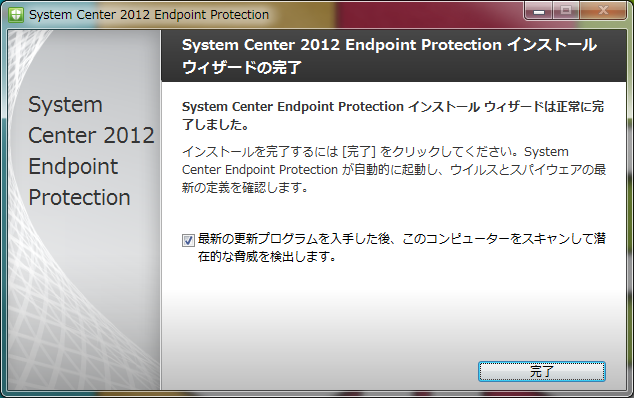
**４　「SCEP」のインストール**

⑤「System Center 2012 Endpoint Protection」のインストールの準備完了ウィンドウが表示されるのでそのままインストールを行う。



※既に他のウイルス対策ソフトをインストールしている場合，それらのソフトを削除して良いか確認のメッセージが表示されます。その場合は「はい」をクリックして次に進む。

⑥「System Center 2012 Endpoint Protection」のインストールウィザードの完了ウィンドウが表示される，最新の更新プログラムを入手した後，このコンピューターをスキャンして潜在的な脅威を検出しますにチェックをし「完了」をクリック。



⑦ 再起動を行う

改定履歴

2015.2.9

2015.6.3　新インストーラーに切り替えのため

2015.9.11 添付画像を一部修正

2015.11.16 添付画像・実行環境を一部修正・内容追加・SCEPの一部記述削除

2015.9.11 Windows10対応

2016.4.28 名称変更

2016.10.1 画像等差し替え